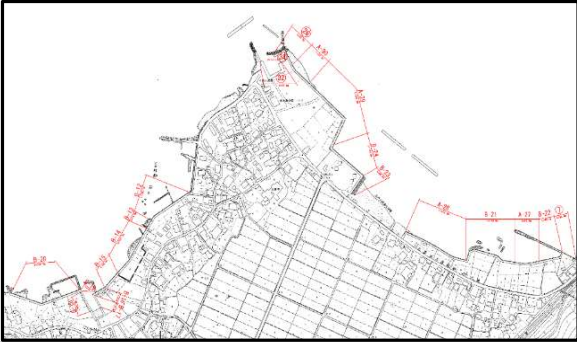


令和6年能登半島地震 被害・復旧状況カルテ

施設等名称		沖波漁港	
位置図	地番	沖波地先	
			
施設概要 発災当初の 状況	被害額	710,566,000	円
	護岸及び堤防の水叩工及び胸壁の沈下、亀裂、破断、空洞化 護岸の傾き、ブロック積の抜け落ち 物揚場のエプロンの沈下、亀裂、護岸の傾き 船揚場の舗装版の亀裂		
被害状況詳細	・6災第1114号 復旧延長 L=422.0m 12号護岸 L=100.6m、18号護岸 L=44.8m、20号護岸 L=50.1m、17号護岸 L=29.1m、14号護岸 L=106.8m、15号護岸 L=40.8m、19号護岸 L=5.8m、16号護岸 L=29.5m、13号護岸 L=14.5m ・6災第1115号 復旧延長 L=159.7m 物揚場32 L=80.1m、船揚場34 L=15.0m、護岸26 L=64.6m ・6災第1116号 復旧延長 L=347.2m 29号堤防 L=181.4m、24号護岸 L=86.4m、23号護岸 L=44.7m、30号護岸 L=34.7m ・6災第1117号 復旧延長 L=383.5m 28号護岸 L=151.2m、21号護岸 L=128.3m、27号堤防 L=51.1m、22号護岸 L=52.9m		
復旧状況 今後の方針 (R7.2.1現在)	9月9日災害査定実施 工事発注まで危険箇所はバリケード設置中 (護岸)(B-20・19・18・17・16・15・14・13・12・24・21・22)(26)沈下した水叩工を打ち替える。破断した護岸工を部分的に打ち替える。傾きや滑動については実施設計時に検討。(B-23)沈下した水叩工、胸壁工、階段護岸工を打ち替える。(7)抜け落ちたブロック積護岸を復旧する。(堤防)(A-27～30)沈下した水叩工を打ち替える。破断した護岸工を部分的に打ち替える。傾きや滑動については実施設計時に検討。(物揚場)(32)沈下、亀裂の生じたエプロンを打ち替える。護岸の傾きについては実施設計時に検討。(船揚場)(34)亀裂の生じた舗装版を打ち替える。		
写真	撮影日時		
			